

# 八多小学校だより

令和元年度  
9月号  
神戸市立八多小学校



## 「笑顔あふれる ポカポカツリー」!?



長かった夏休みが終わり、学校に子供たちの元気な声が戻ってきました。夏季休業中の3日間の授業日で徐々に生活のリズムを取り戻し今日からいよいよ本格的に2学期がスタートしました。あれほど続いた猛烈な暑さも、8月も最終週の頃には一段落し、朝夕に涼

しさを感じられるようになってきました。早朝から耳をつんざくほどに鳴っていたセミの声も、ずいぶんとその数が少なくなり、心なしかわびしさすら感じます。

今日は9月2日、始業式。式の中で6年生が左上の木の名前をみんなに披露してくれました。

「**笑顔あふれる ポカポカツリー**」です。

ところでこの木、何の木だかわかりますか？実は「安全・安心な学校づくり」の一環で校内にふわふわ言葉を広げようと考え出した運動の一つに用いるアイテムです。7月1日の朝会で子供たちにこの木の絵を紹介しなにも伝え運用を開始していたのです。学年毎に自分たちで一週間の生活を振り返り、元気なあいさつや「ありがとう」「一緒に遊ぼう」などのあたたかい言葉が交わされていたら、校長室にリンゴのシールを受け取りに来て好きな場所に貼っていくというものです。シールには日付と

学年が記載されています。うれしいことに一週間後すぐにシールを取りに来てくれた学年がありました。朝会で子供たちに紹介した際に同時にこの木に名前をつけてほしいと呼びかけました。みんなを巻き込んだ運



動にしたかったからです。すると54名もの子供たちが校長室前のスクールポストに一生懸命考えた木の名前を投函してくれました。熱い思いも添えて……。その思いを受け止めてネーミングを考える大役を6年生にお願いしたのです。貴重な授業時間を使って6年生のみなさんが一枚一枚応募用紙に目を通し、考えに考えて名前を決定してくれました。そこにはこんなメッセージが添えられていました。

言われてうれしい言葉がいっぱいになって、八多っ子みんなの心がポカポカになったらいいなと思って考えました。ポカポカする言葉とは、あいさつ・ほめ言葉・「ありがとう」・「すごいね」などです。ポカポカツリーがりんごでいっぱいになりますように  
・・・★ 6年一同

6年生のみなさん、ありがとう。

この運動が広まりツリーがりんごでいっぱいになるようみんなの力を合わせていきたいものです。校長室の前に設置しています。時折のぞいてみてください。

2学期も引き続きご支援ご協力よろしくお願ひいたします。

校長 小原 耕司

## 複数の目と心で!

「学習支援」を担当して、2年目に入りました。

今年度も、5、6年生の算数の複数指導を中心に毎日子供たちに関わっています。4年生までに学んだ知識や技能を基礎にして、学習内容が深まっていく高学年。担任の先生と力を合わせて毎時間指導にあたっています。一時間の授業の中で、机間巡視しながら個に応じた支援や励ましを行い、一人一人の理解が深まるように働きかけています。また、毎日の宿題の点検も指導に欠かすことはできません。みんなが、「わかった。」「できた。」「楽しかった。」と思えるような一時間になるよう努めています。

また、他の学年の学習にも関わっています。一学期は、おもに2年生や4年生と一緒に学習したり、行事を共にしたりしました。4年生の「東クリーンセンター」への社会見学では、広いごみピットを真下に大きいごみクレーンを操作されている人の姿や、焼却炉の中で真っ赤に燃えている炎などを間近で見学することができました。目の前で繰り広げられる迫力ある光景は、何度見学しても見入ってしまいます。

さまざまな学年の子供たちと心を通わせ、学習や活動に関わることができていることを喜んでいきます。2学期も、複数の目と心で、子供たちが安全に楽しく学習したり、生活したりできるよう支援していきたいと思ひます。

学習支援

松本 佐登美